

# 岩手町SDGs未来都市共創プロジェクト

## 地域を楽しむ、新しい学びと実践のカタチ



# 内閣府「SDGs未来都市」の選定について

- 内閣府により「SDGs未来都市」として選定  
(2020年7月)  
「小さな自治体の野心的な挑戦」と高く評価



- リビングラボから構成される連携のプラットフォームが、スマート農業、森林マネジメントの具体的な取組の基盤となり、企業認証、インパクト投資等につながる仕組みが高い水準で検討されていることが高く評価できる。

# SDGs未来都市でめざす2030年の姿とトリプルボトムライン

## 【2030年のあるべき姿】

SDGsの理念・ゴールを道標として、岩手町に関わる全ての人々が主体的に、互いに連携・協力し合って町の持続可能性を高めていくことに深い喜びと誇りを感じている



岩手町の持続可能性を高める上で、町民自らが町の未来にコミットし、または「自分たちが町の未来のためにできることは何か」を自発的に考えてくれる状態を創出していくことが重要である。その意思の持ち方として「シビックプライド」の醸成を掲げる。このシビックプライドをベースに、町民が誇りに思う町としてのブランディングと具体的なSDGs未来構想をもって、トリプルボトムラインを設定した。

※シビックプライド = 「シビック(市民の/都市の)」には権利と義務を持って活動する主体としての市民性、という意味があることから、「郷土愛」という地域に対する愛着の意味だけでなく、**自分自身に関わることで地域を良くしていこうとする、当事者意識に基づく自負心などを含めた表現の言葉**として日本でも認知が進んでいる。

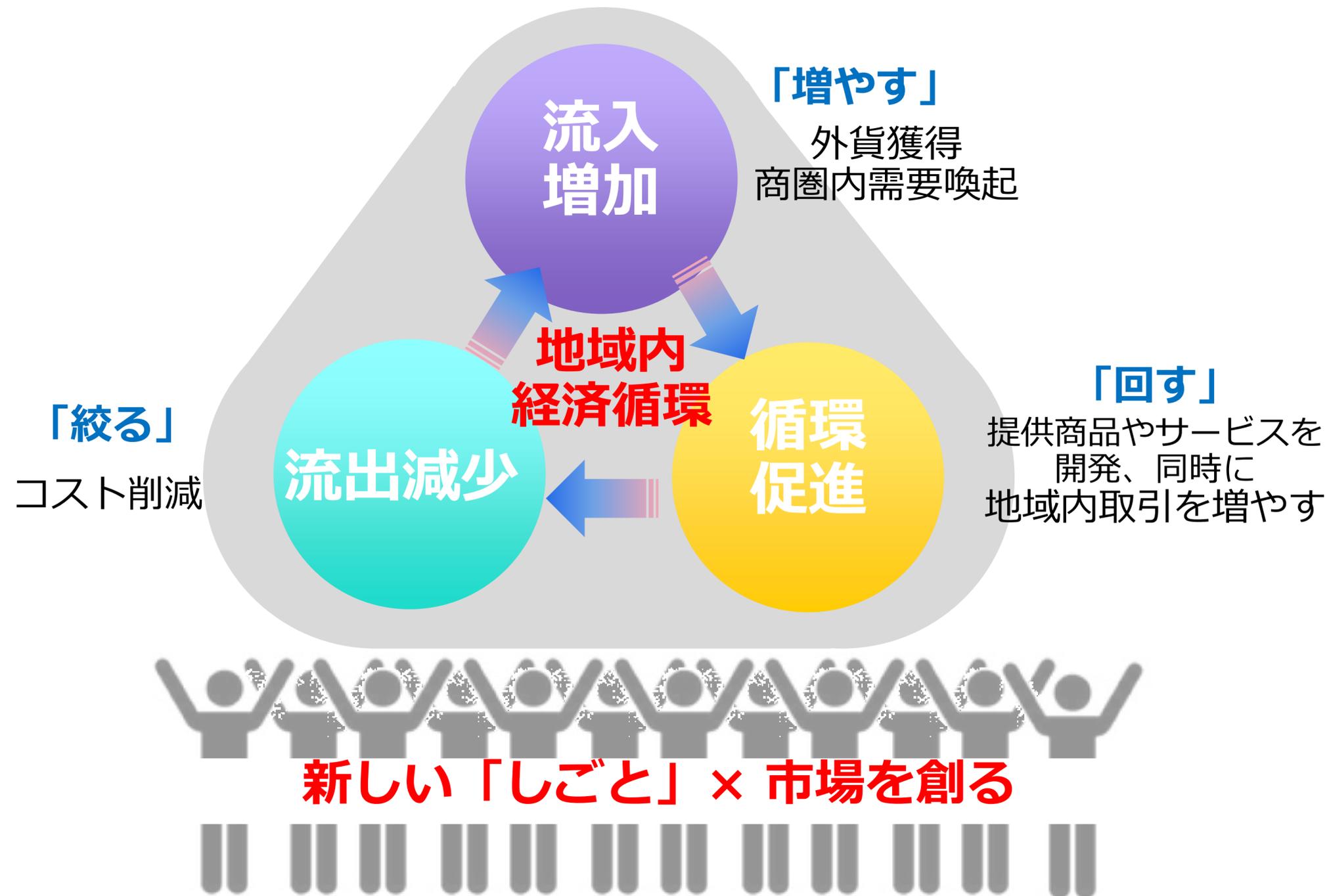
# 岩手町が目指すSDGsの将来像



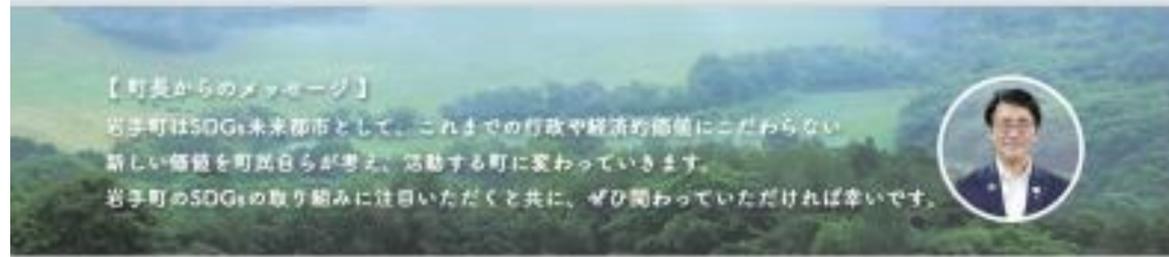
※ここに記述されているプロジェクト以外にも多くのプロジェクトを町民の皆さんと共に進めていく予定です。

# SDGsから生まれる様々な市場機会

**経済循環の原則**を意識して、**活性化**に取り組む



# 岩手町SDGs未来都市共創プロジェクト



「選ばれるいわてまち」へ

## 2030年のあるべき姿

SDGsの理念・ゴールを目標として、岩手町に関わる全ての人々が主体的に、互いに連携・協力し合って町の持続可能性を高めていくことに深い喜びと誇りを感じている状態。



- ① シブクプライドの醸成・高まり
- ② ブランド価値の向上
- ③ 「SDGs 姉妹都市」との連携

※シブクプライドとは「町に誇りを持ち、自分たちの地域は自分たちで創っていく」という主体意識や考え方に基づいて実施される多様なまちづくり手法。

## これまでの取り組み



トークフォークダンス



丸の内×岩手町 SDGs Tour



志塾(起業創業支援)



サッカー教室×子ども食堂



100年の森づくり研修



農業の担い手育成

ほかにもたくさんの取り組みをしています。詳しくはこちらから▶▶▶



【岩手町のSDGs未来都市共創プロジェクトに関するお問い合わせ先】

岩手町役場 未来創造課 TEL: 0195-62-2111(内218)

FAX: 0195-62-2073



IWATE TOWN  
SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



2  
0  
3  
0  
年  
そ  
こ  
は

## I-Valley

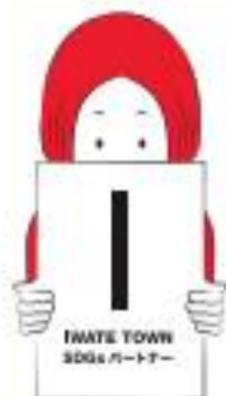


私1人(1)の行動から、

岩手町(Iwatemachi)の主体性(Identity)が引き出され、岩手町の魅力を発信(Information)していく。さまざまな技術が集まる集積地(Valley)となり、岩手町と国内外が相互に(Interactive)つながり始める。優しく、あたたかい、持続可能な岩手町を「I=愛」で作り上げる。



と  
呼  
ば  
れ  
て  
い  
る



## なぜ、「SDGs 宣言」に取り組むの？

岩手町は 2020 年 7 月に内閣府から「SDGs 未来都市」に選定されました。SDGsとは、世界中で取り組んでいる誰一人取り残さない世界を実現する目標です。岩手町では、町の皆さんや会社、団体の皆さんと共に SDGs 達成に向けて取り組んで参ります。「SDGs 宣言」はその第一歩です。

笑顔がいっぱいの岩手町の明るい未来をみんなでつくるために、できることから取り組んでいきましょう。

### 「SDGs 宣言」の概要

- 1 普段から未来をより良いものにするために取り組んでいることやこれから取り組みたいことを宣言します。
- 2 宣言した内容を町で確認します。
- 3 宣言内容に関する SDGs 宣言書を町から交付します。
- 4 了承いただける人のみ、町公式ホームページや広報、小・中学校などの教育機関に SDGs 宣言内容などの情報提供を行います。



### 「SDGs 宣言」に参加するには

パンフレット中面の「宣言シート」に記入してメール・ファックス・郵送で申し込み下さい

メール ▶ mirai-1@town.iwate.iwate.jp

FAX ▶ 0195-62-2073

郵送 ▶ 〒028-4395  
岩手県岩手郡岩手町大字五日市 10-44  
岩手町みらい創造課



「宣言シート」はウェブサイトからもダウンロードできます  
<https://iwatetown-sdgs.jp/2022/04/01/sdgssengen/>

岩手町 SDGs 未来都市共創プロジェクト 検索



教えてください！  
笑顔がいっぱいの未来に向けた



岩手町みらい創造課  
TEL : 0195-62-2111(内 219)

岩手町SDGs  
未来都市  
共創プロジェクト



# わたしのSDGs宣言



個人・団体・会社  
みんなで取り組もう

教えてください！  
未来に向けた  
あなたの取り組み



## 大募集

困った友達がいいたら  
みんなで助け、  
誰とでも仲良くします

家で出る  
ゴミの量を  
減らします

給食を  
残さず  
食べます

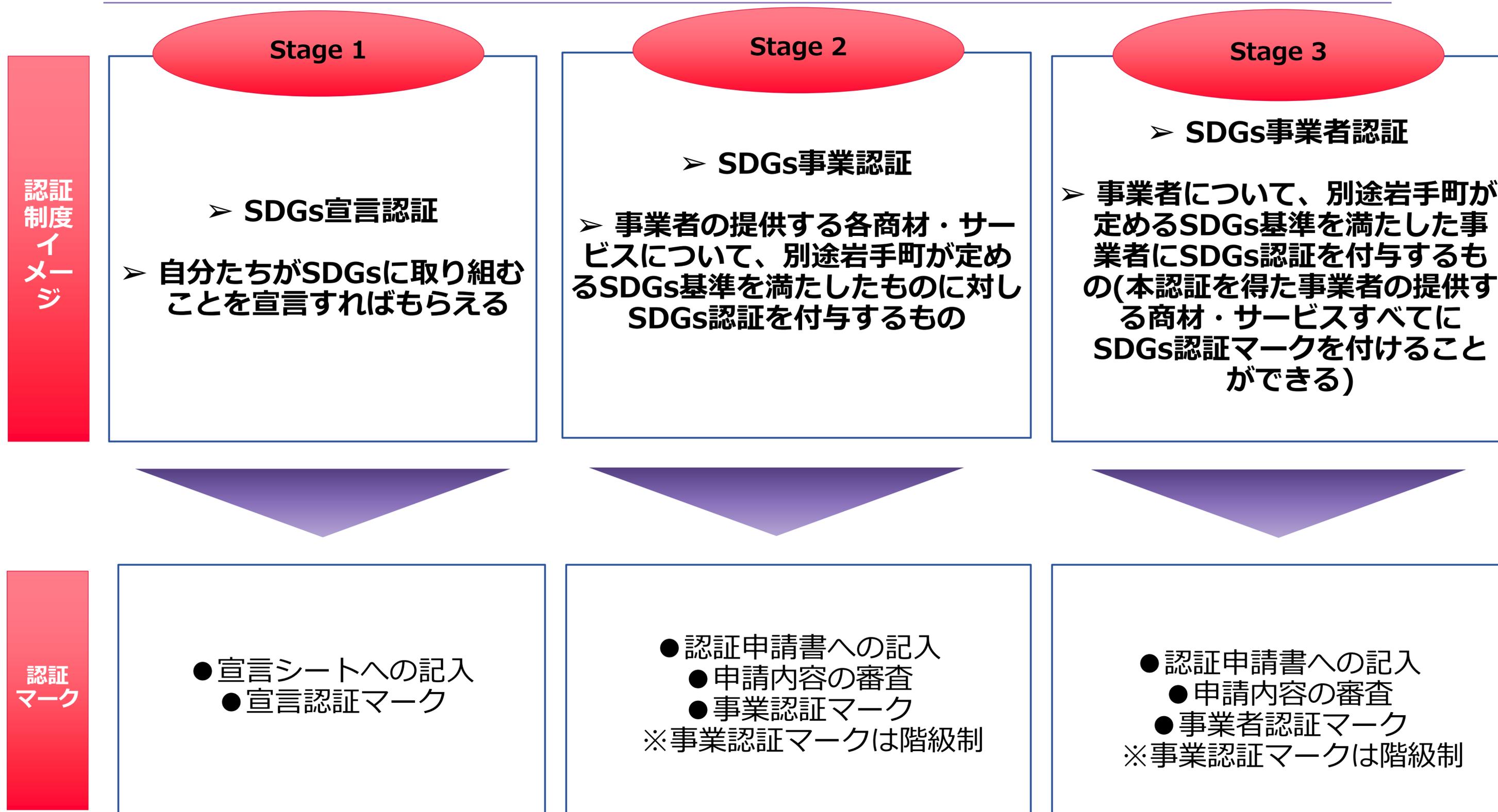
健康のため  
毎日歩きます

エコな  
ドライブを  
心がけます

環境に配慮した  
商品を購入します



# いわてまち版SDGs認証制度



# SDGs 未来都市のまち

紹介する目標



初のSDGs認定証を交付された中村翔真さん⑤



身近な食に感謝する気持ちを持ちましょ

## 町SDGs宣言を初認定

町SDGs宣言認定証交付式が5月12日、町長室で行われ沼宮内中3年の中村翔真さん＝葉の木＝にSDGs認定証が交付されました。制度開始後、初の認定証の交付となります。この宣言は、町の明るい未来をみんなで作るために、地域の皆さんや町内事業者がすでに取り組んでいる活動や、これから取り組む活動について、SDGsの観点から町が認定する制度です。

中村さんは、私たちの身近にある「食」に感謝の気持ちを持ちながら、これからも生活していきたいと「給食を食べ残さない・作ってくれた人に感謝する・貧困で困っている人に募金活動をしたい」と宣言。佐々木光司町長は「農業の町であり、食の町でもある岩手町で、食に感謝の気持ちを持って応募していただきありがたいと思う。周りの友人にも声を掛け合って、町と一緒にSDGsの考えを広げてほしい」と激励しました。

身近なことから始められるSDGs。「宣言シート」は町のウェブサイトからダウンロードできます。皆さんの取り組みを、ぜひ町の皆さんに紹介してみませんか？



IWATE TOWN

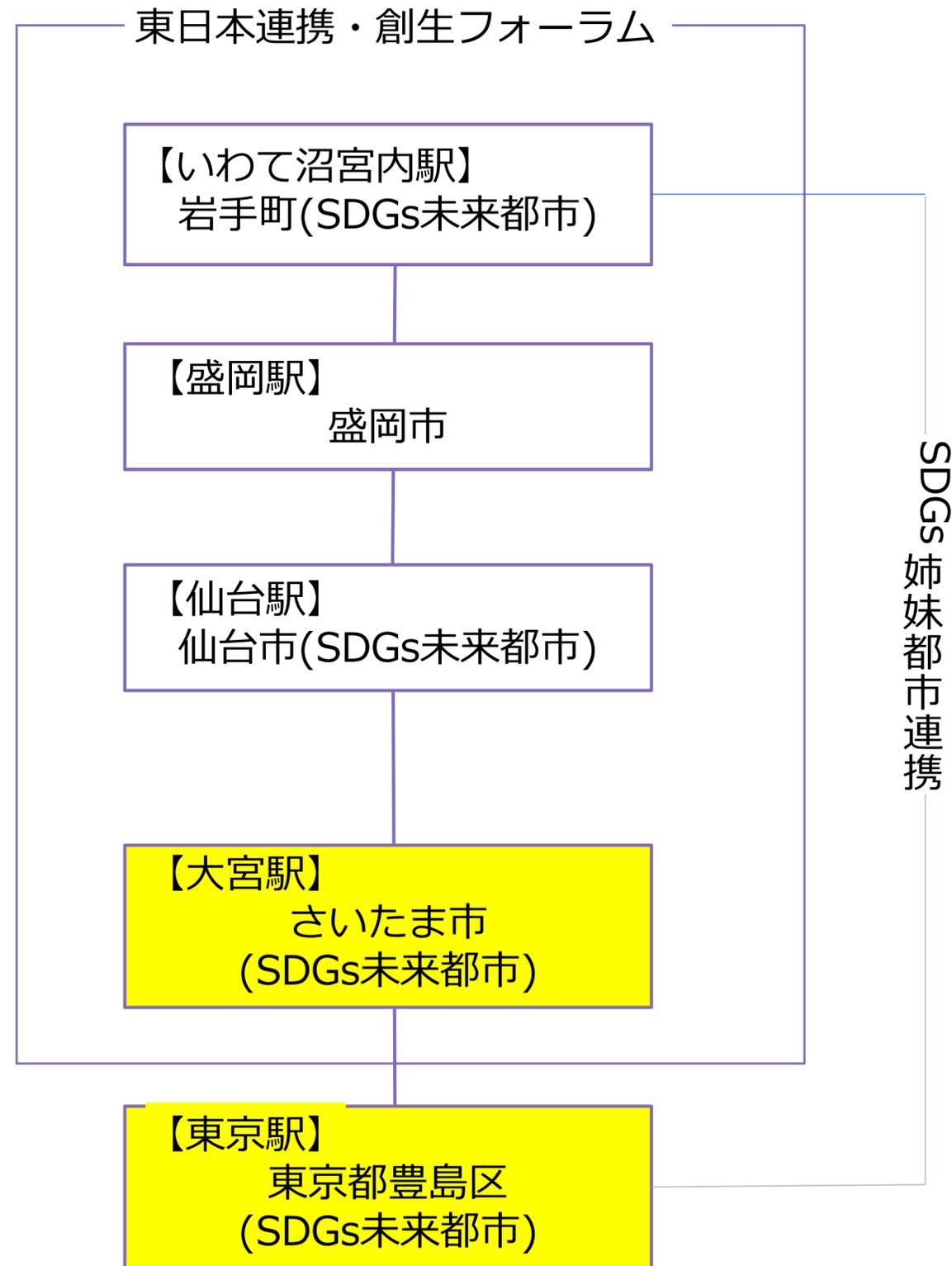
SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



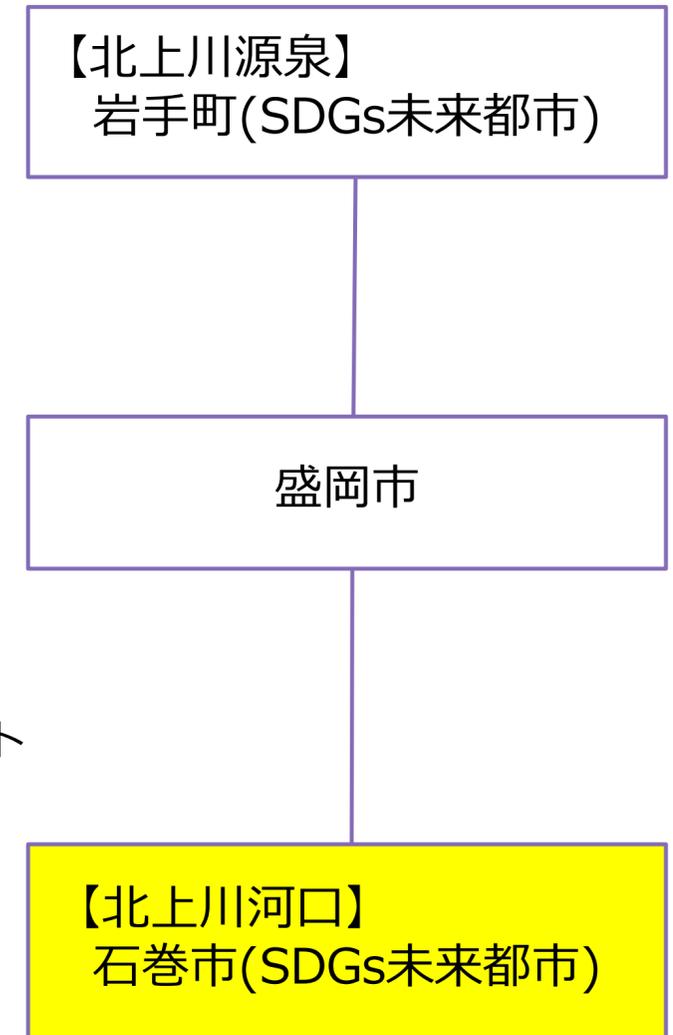
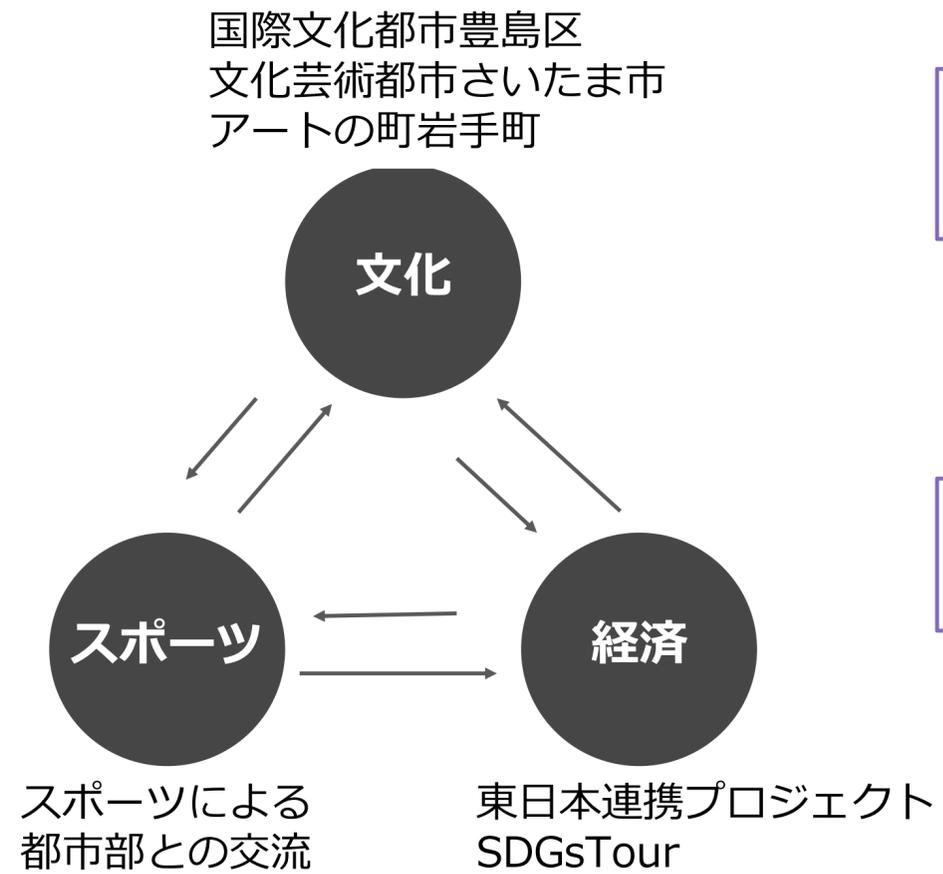
SDGs 姉妹都市連携からの繋がり

# SDGsによる都市間連携

# 新幹線駅をハブにしたSDGs自治体連携



# 北上川流域連携プロジェクト



# SDGsTourによる都市部への情報発信・ネットワーク構築



SDGsTour企画展



豊島区豊島区立としまみどりの防災公園  
(ファーマーズマーケット)



A0サイズ 841 × 1189 ミリ



地場産品・食の発信



SDGsによる生産者の取り組み



さいたま市  
東日本連携センター

## 東京都豊島区



# SDGs未来都市との連携

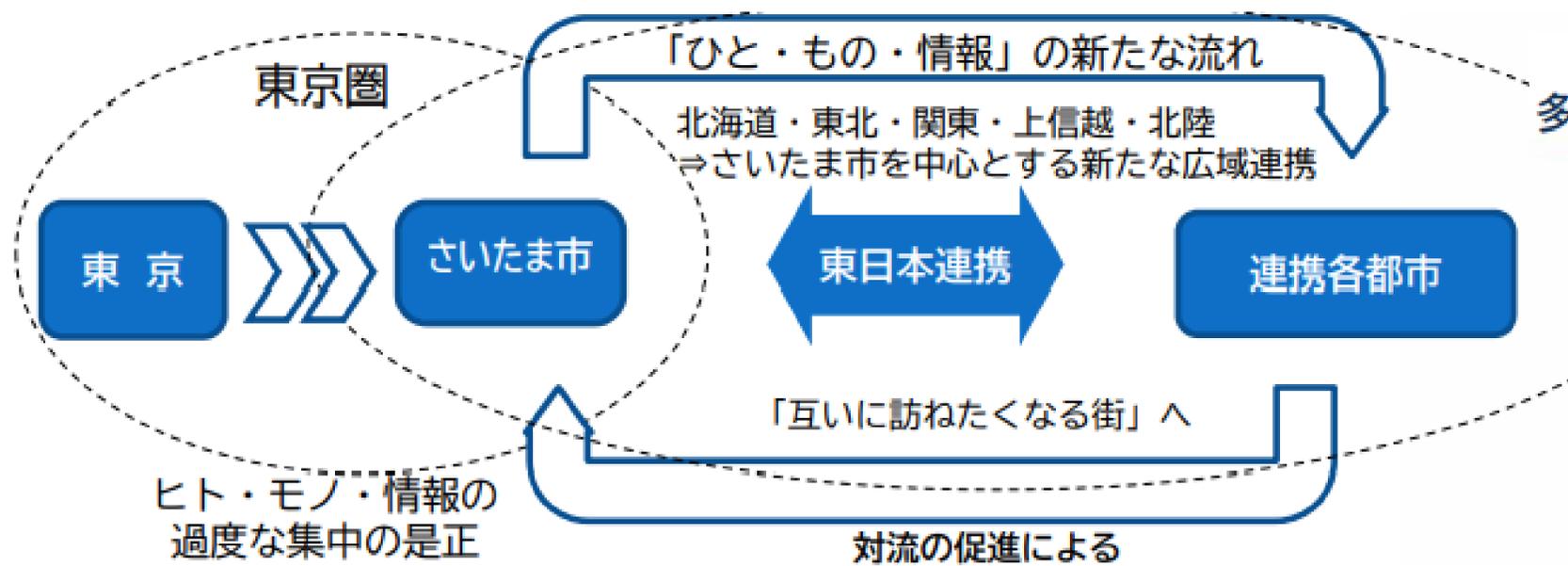
## 宮城県石巻市



# SDGs未来都市との連携

## 埼玉県さいたま市

### 東日本の連携拠点



### ○東日本連携センターの創設



### 『環境未来都市』を実現

多様なエネルギーを災害時も供給

強く、しなやかな  
低炭素型コミュニティモデル



交通の低炭素化  
高齢者・子育て世代  
の移動支援

# SDGs姉妹都市による諸外国との連携への挑戦

海外姉妹都市提携テーマと都市候補

IWATE TOWN  
SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



## アイルランド



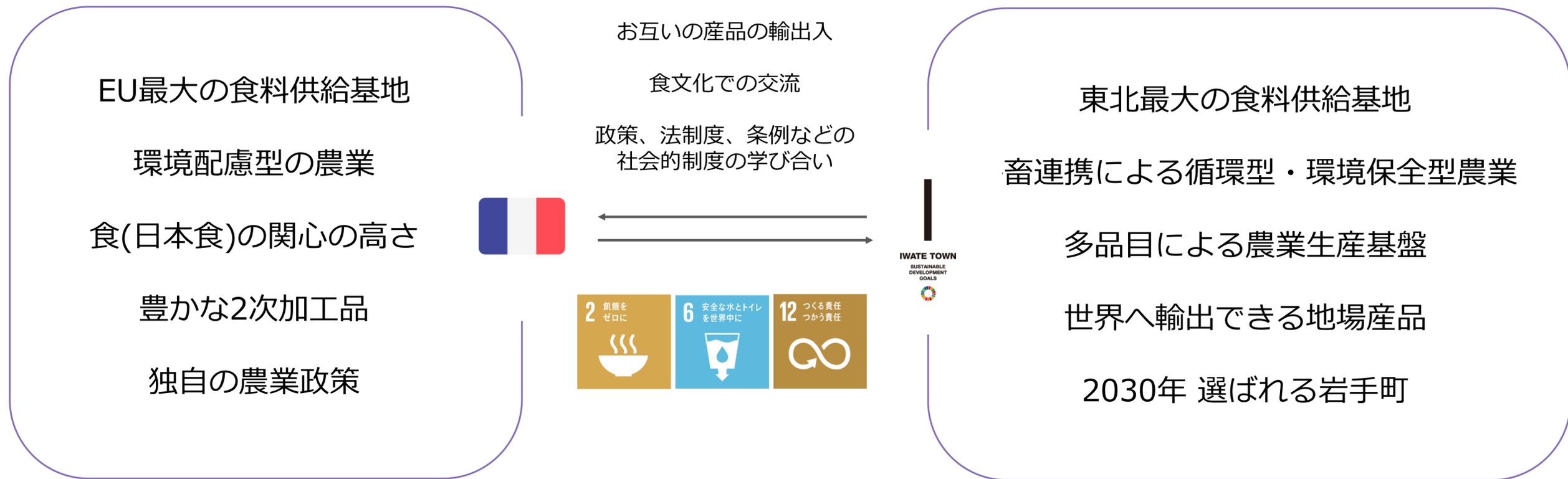
## フランス



## デンマーク



# 海外姉妹都市との連携プロジェクト【フランス】



いわて町ラボ 子ども食堂



丸の内×岩手町 SDGs Tour 産品販売



いわて町ラボ 農業担い手

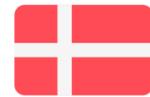
# 海外姉妹都市との連携プロジェクト【デンマーク】

対話を通じた異文化交流による  
学び合い

交換留学

大人の学び直し  
(リカレント教育・生涯教育)

政策、法制度、条例などの  
社会的制度の学び合い



自ら考える教育  
対話を重視する  
人口580万人の小さな国  
幸福度ランキング 1位常連  
教育への投資

地域共創人材育成  
対話によるまちづくり  
人口12,000人の地方都市  
まちづくりはひとづくり  
2030年 選ばれる岩手町



トークフォークダンス



岩手町と僕らの未来開拓プロジェクト (いわぷろ)



企業活動体験プログラム



**IWATE TOWN**

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



持続可能な地域の未来を共創する

岩手町リビングラボ（いわて町ラボ）

# 次代へとつなぐ「3つのカルチャー／アート」の共創

## 岩手町の強み

(評価・実績/町民の強い関心・高い参加性)

- ①農業
- 野菜総合産地としての高い市場評価
  - 耕畜連携による循環型・環境保全型農業
  - スマート農業モデル事業

- ②森林・ものづくり
- 豊かな自然・資源（石材・木材）
  - 地産材を活用した都市景観形成

- ③健康・スポーツ
- 検診方式（保健文化賞）
  - 先導的な安心生活支援事業
  - ホッケーの町としての高い実績

日常生活をより豊かにする  
取り組みの一部を紹介

### 01 農業×SDGs



町の農業の取り組みに関心がある明治大生が農家でりんごの収穫を体験

### 02 森林・ものづくり



地元の商店と共同でコーヒーを販売する地元木材でつくられたコーヒースタンド

### 03 健康・スポーツ



いわてグルージャ盛岡のサッカー選手と一緒にボールに親しむ一方井学園クラブの子どもたち



「リビングラボ」とは  
地域内外の人が一緒に、  
社会問題の解決を目指す活動のこと。

## ワイワイ話しながら リビングラボ 町のミライを創る



互いにアイデア出し合い町の豊かさを次の世代へ町を誇り多く社会情勢は常に変化し、人口減少や、医療費の増大、インフラ（道路や公共施設など）の老朽化など、町にはさまざまな課題が山積しています。

こうした課題の解決方法の一つとして、町は2020年からリビングラボに取り組み始めています。リビングラボとは、町内外からさまざまな立場の人を巻き込んで、今まで町になかった新しいアイデアを生み出し、町の課題解決やまちづくりに挑戦するもの。町外から課題を担ってテーマごとのセミナーやワークショップを開催し、1昨年からプロジェクティブを立ち上げ、取り組みを始めています。

また、リビングラボは課題解決のほか、町の皆さんの地域生活を豊かにしたり、くらしが明るくなるアイデアを生み出しています。町の豊かさを次の世代に引き継ぎ、地域のために新たな行動を起こしてみませんか？

# 岩手町リビングラボ（いわて町ラボ）

中心テーマ 岩手町の魅力・強みが発揮できる3つの分野・フィールド

6つのプロジェクトを設定

プロジェクト推進役を配置

## 農業

### 1. 農業の担い手確保プロジェクト

農業に関心を持つ地域内外の様々な方々と町の農家との多様な接点・関わり方を生み出し、農家のファンづくりを行うことで、農業の支え手の裾野を広げ、新たな担い手を発掘・育成します。

コーディネーター：株マイファーム

### 2. スマート農業実験村プロジェクト

岩手町を農起業のメッカへ。廃校を拠点に先端農業の小さな実験村をつくり、半農半Xなどの新しいスタイルで新規就農に挑戦する人たちと共に“クールな農業”を編み出します。

コーディネーター：株スリーダム

## 森林

### 3. 美しい100年の森プロジェクト

多間伐施業による循環型／環境保全型の森林管理の手法を確立することで、新しい林業人材を確保・育成し、町民参加型の森づくり（森との多様な関わり方の創出）を進めます。

コーディネーター：東北広域森林マネジメント機構

### 4. 地産材活用プロジェクト

DIYの「ものづくり」からDIO (Do It Ourselves) の「まちづくり」へ。みんなの力で“木使い”を推進し、地産材を活用した潤いのある公共空間づくりに取り組みます。

コーディネーター：Itaru/Taku/COL

## 健康

### 5. 子ども食堂モデル構築プロジェクト

地産食材・伝統食 × 芸術・スポーツなど、町の特徴・地域資源を活かした様々な多世代交流の場・機会を増やし、地域ぐるみで豊かな子育て環境をつくります。

コーディネーター  
：いわてグルージャ盛岡  
：NPO 法人まちサポ栗石

### 6. 岩手町丸ごと健康プロジェクト

農や食、森や川、文化資源など、岩手町の全てのフィールドを活かした健康で持続的な生活スタイルを創造・発信します。

コーディネーター  
：Step2.5 コンソーシアム

農を核とした交流人口・関係人口の拡大と農業の多様な担い手の育成

現地ツアー実施



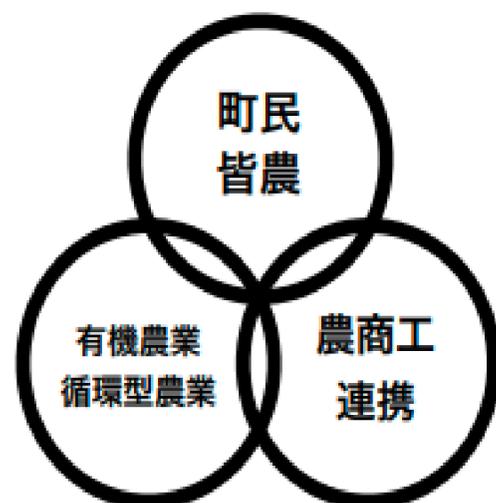
# 農を核とした交流人口・関係人口の拡大と農業の多様な担い手の育成

## サポーター組織づくり(援農チーム)

[チームのイメージ]



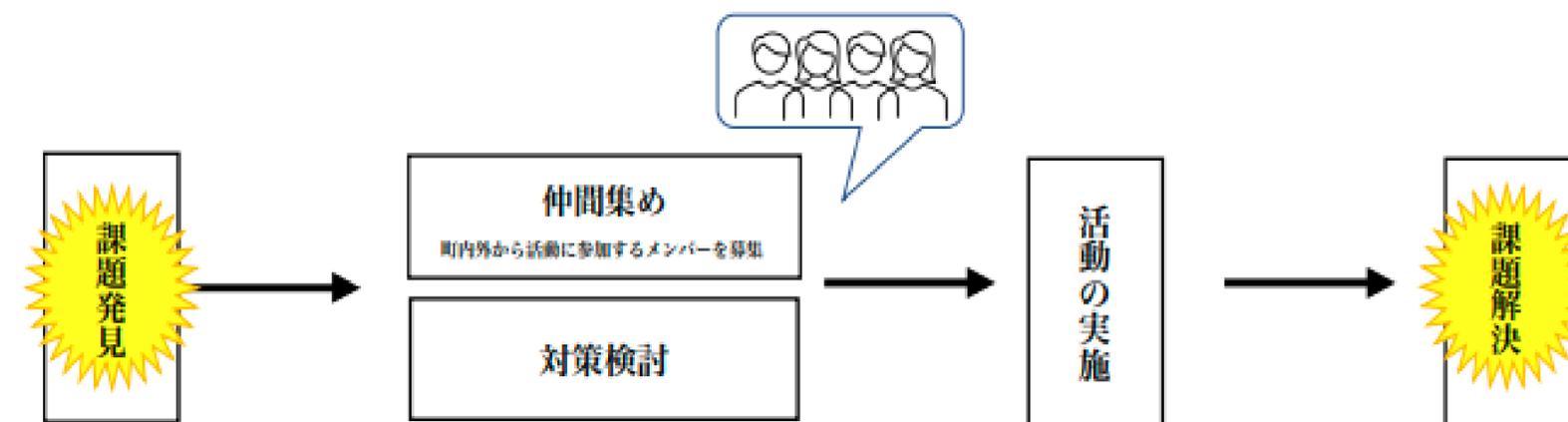
[活動コンセプトのイメージ]



[設定する課題のイメージ]

- ・ 横沢農園の大麦を使った新商品を開発する
- ・ 十和田果樹園、秋の収穫祭り(援農パーティー)
- ・ ○○さんの嫁探し(農家の男性との婚活イベント)
- ・ 農園カフェが欲しい
- ・ 一方井地区のウサギ狩り

- Step-① ラボの活動を通じて、地域に存在する課題を発見  
▶ 農業・林業を中心に解決する課題を設定
- Step-② 課題の内容を公開し、解決に向けた活動に参加するメンバー(Aチーム)を町内外から幅広く募集  
▶ 中核メンバー(3~5名)は地域おこし協力隊制度を利用して任用
- Step-③ 課題解決に向けて、メンバー同士で対策を検討
- Step-④ 課題解決に向けた活動の実施
- Step-⑤ 課題を解決(または解決に向けた活動の継続)



課題の発見から解決に至るまで、活動のプロセス全体を楽しめるコンテンツとして広く、深く発信

# 美しい100年の森プロジェクト



## 美しい100年の森プロジェクト 2022フォーラム 未来に向けた持続可能な森林の活用を目指して



岩手町で次世代に残し伝えていく、美しい100年の森を作るプロジェクトが発足しました。本プロジェクトは、研修などを通じて町民参加で長期的に森づくりを行っていきます。本フォーラムでは、持続可能な森林資源の活用と生業の創出をしている自伐型林業の実践者をお招きしたフォーラムを開催します。森林管理にお困りの方、森づくりに参加してみたい方、森の活用に関心のある方、どなたでも大歓迎です。

**日時** 6月19日(日)  
14:00~16:00

**会場** 岩手広域交流センタープラザ  
1階多目的ホール 岩手町大字江州内614

**定員** 50名 参加無料

- 【プログラム】**
1. 基調講演 薪づくりから始まった森づくり ~薪づくりから50ヘクタールの森林経営へ~  
福井県(一社)ふくい美山きときとき隊 宮田香司
  2. 事例報告 南三陸町での復興支援から、森づくりへ  
宮城県(一社)東北GYROs 大場黎亜  
※登壇者プロフィールは裏面をご覧ください。
  3. 視察・研修(チェーンソー・道づくり)のご案内 募集・スケジュールについて

【主催】いわて町ラボ 美しい100年の森プロジェクトチーム  
【問い合わせ先】岩手町 未来創造課  
参加ご希望の方は、お名前とご連絡先を明記の上、メールまたはお電話にてお申込みください。

### 登壇者紹介

基調講演 薪づくりから始まった森づくり  
~薪づくりから50ヘクタールの森林経営へ~  
福井県(一社)ふくい美山きときとき隊 宮田香司



小売業、飲食業、製造業、ITなど多様な職を経験後、現在は自給自立の生活を求めて農家林家として生計を立てる。行政支援が手薄な時期より自伐型林業で自立を目指し、地域の山林を集約し、作業道づくりをスタート。行政への予算化・移住者の受け入れ等、中山間地域の移住定住促進・生業づくりに取り組む。現在は福井のみならず北陸地域の自伐型林業推進のリーダーとして活躍。

事例報告 南三陸での復興支援  
宮城県(一社)東北GYROs 大場黎亜



東日本大震災のボランティア活動から、被災地に移住。仕事はまちづも「チェーンソーや重機」で復興支援に役立てなかったことが、林業の研修に参加。作業道づくりで自立を立ち上げる。もりづくり活動に活動を開始させ

会場では新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願い致します。  
・受講にあたっては、マスクの着用、咳エチケットにご協力をお願いします。  
・会場入退場時は、会場入口に設置されたアルコール消毒液による手洗いを必ずお願いします。  
・会場入場時や休憩時等には、こまめな手洗いに努めるようお願いいたします。  
・発熱または風邪の症状がみられる場合には、受講の見合わせをお願いします。

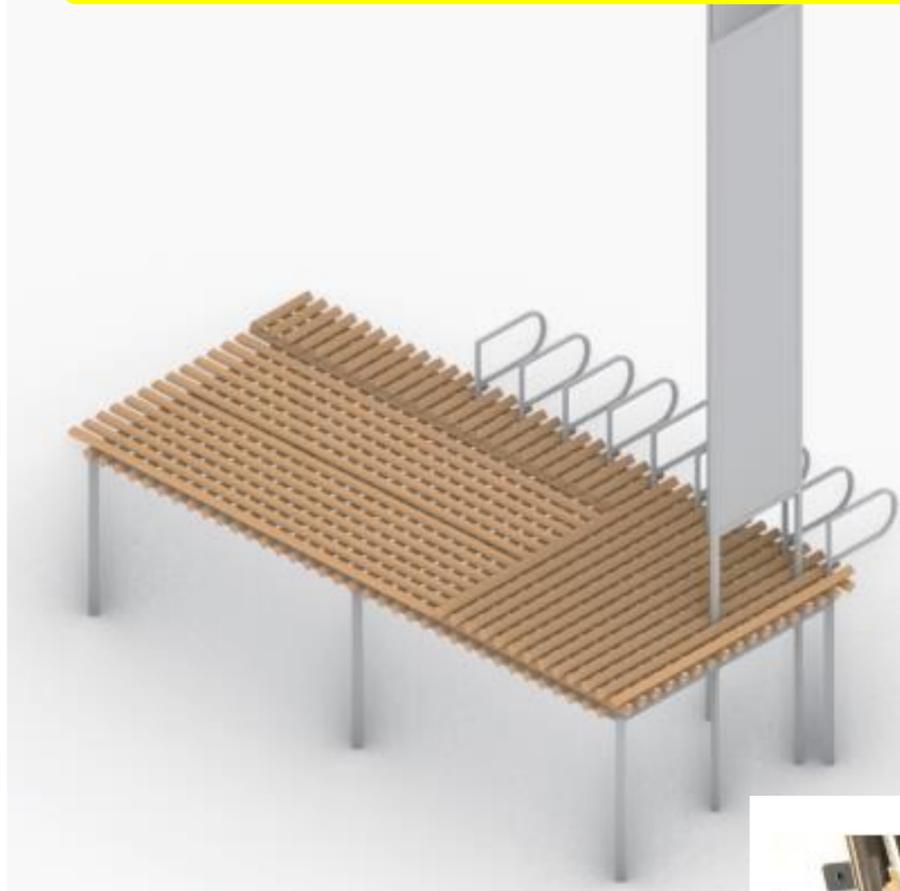


地産材を活用した潤いのある公共空間づくり

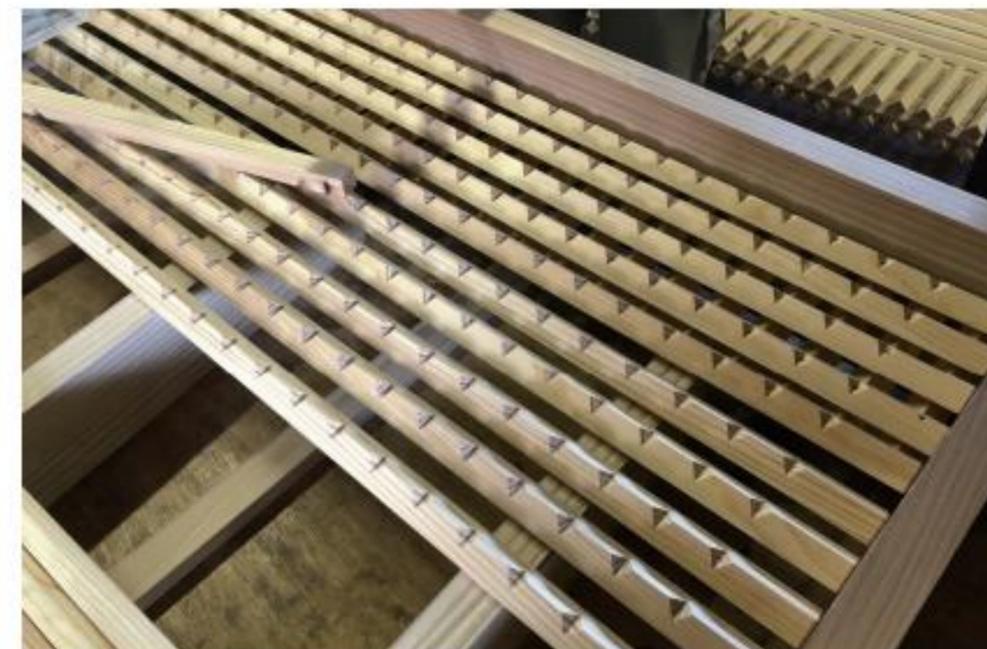
新しい木組みシステムを通した、  
岩手町の森林資源を活用した創作活動への市民参加促進



岩手町の公共空間における屋外活動を活性化する  
ストリートファニチャーの製作



△専用治具



△組み方

地域の特徴・資源を活かした  
多世代型交流食堂モデルの構築

2021/11/15 : やってみる



サッカー教室 × 子ども食堂で**多世代交流**



一方井保育クラブの子供たち



岩手町食生活改善推進委員さん提供



# なかよし×子ども食堂 いわて町×しずくいし町岩手なかよし交流事業

いわて電力(株)からイベントTシャツを提供いただき交流



いわてグルージャ盛岡 サッカーで交流



JA新しいわて女性部岩手支部の協力により地元産食材によるお昼にて昼食会



## 岩手町まるごと健幸フィールド化プロジェクト

岩手町の豊かな自然環境・社会資源を見える化し、ICT等のツールにより、アクティビティを活性化することで町民一人一人の健幸指標の向上とともに関係人口の増加を図る。



eスポーツの実践（シニア等）による  
バイタル向上、コミュニティ形成

ウォーキングコースの設定による  
歩行量増加、町の魅力発見



# エネルギー・環境プロジェクト

## プラ油化・再資源化・脱炭素化に関する実証実験

### プラスチックの油化・再資源化



### 食品残渣の循環型食器

edish



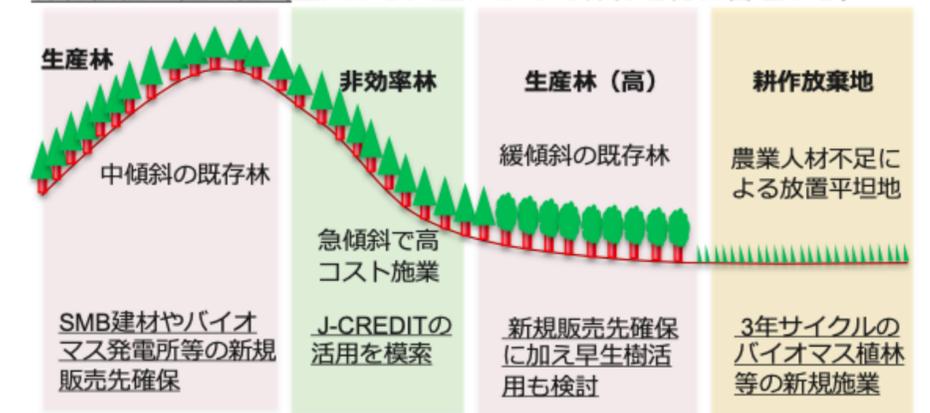
### 森林経営の総合的管理

J-クレジット制度の活用など

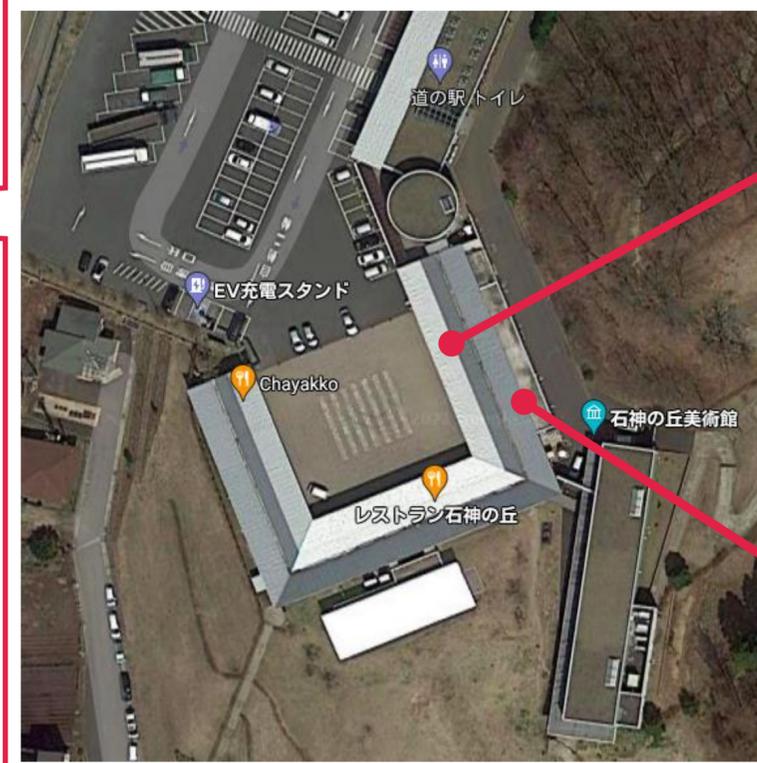
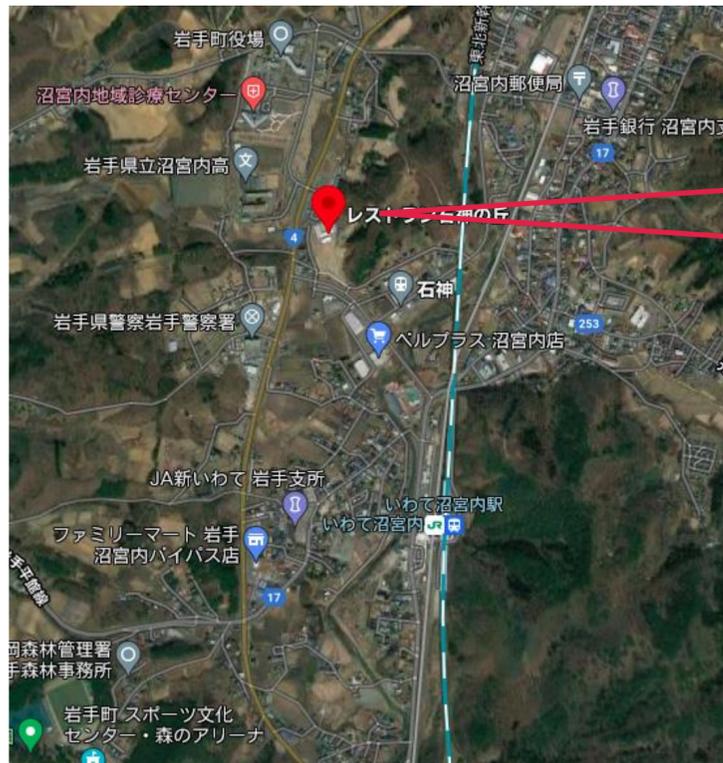
#### 弊社機能

森林価値の極大化	以下参照
資源量の見える化	3Dスキャン等を用いた資源量把握
施業計画策定・管理	効率性重視の施業計画策定とITを用いた施業管理
J-CREDIT申請	非効率林への新規価値付与に伴う収益性向上
新規販売ルート確保	出材状況に応じた新規販売先の確保
資金確保	森林環境譲与税等を利用した資金確保

#### 森林価値の極大化（里山から人里にかけて森林を総合管理する）



# AIカメラ×サイネージ端末による データ収集・分析実証実験



## ①産直店舗外（カメラ）

コの字型に囲まれた道の駅の区画全体を撮影することができる。

区画には産直店舗、パワー工房店舗、美術館入口が含まれ、交通案内所・休憩所は含まれない。



## ②産直店舗内（サイネージ端末+カメラ）

店舗の自動ドアを入ってすぐ右の位置の、とても目に入りやすい形で設置され、入り口からの人の動きが把握できる。

店舗のゾーニングは、主として左の区画が野菜等の生鮮食品、右の区画が加工品となっている。

# いわて町ラボ 2022プロジェクト計画

分野	プロジェクト	概要・テーマ
農業人材育成	<b>新規就農者発掘・育成プロジェクト</b>	農業に携わることに興味・関心を持つ地域内外の多様な人材と農家との交流・関係づくりを通じて、町の農業の多様な担い手を発掘・育成
	<b>農による交流人口・関係人口の拡大プロジェクト</b>	
	<b>農業の多様な担い手の育成プロジェクト</b>	農業人材基盤の形成に向けた特定地域づくり事業協同組合の検討
先端農業実証実験	<b>クール農業プロジェクト</b>	先端技術を活用した実験村づくりで、岩手町を農起業のメッカへ。先端農業の技術研究会を定期的に行いながら、廃校を拠点に先端農業の小さな実験村をつくり、半農半Xなどの新しいスタイルで新規就農に挑戦する人たちと共に“クールな農業”の創出を目指す
森林管理	<b>美しい100年の森プロジェクト</b>	循環型／環境保全型の小規模な林業の体系・森林管理の手法による新しい林業人材の育成及び町民参加型の森づくり
	<b>森林総合経営プロジェクト</b>	森林の特性・諸条件に応じて、森林の生産性を最大化する取り組み（Jクレジットなど）の検討
地産材活用	<b>木使い推進プロジェクト</b>	DIY（Do It Yourself）の「ものづくり」からDIO（Do It Ourselves）の「まちづくり」へ。みんなの力で中心市街地での“木使い”を推進し、地産材を活用した潤いのある公共空間づくり（中心市街地の賑わいと安らぎの創出）への取り組み
多世代交流型こども食堂	<b>地域交流食堂プロジェクト</b>	地産食材・伝統食 × 芸術・スポーツなど、町の特徴・地域資源を活かした様々な多世代交流の場・機会を増やし、地域ぐるみで取り組む豊かな子育て環境づくりに向けて、地域交流食堂のモデルを構築
健康づくり	<b>岩手町まるごと健幸フィールド化プロジェクト</b>	健康で持続的な生活スタイルの創造・発信に向けて、農や食、森や川、文化資源などを活かしたウォーキングコースの開発とウォーキングアプリ、eスポーツなど、ITなどの活用による健康づくりの促進
地域活性化	<b>レンタサイクル活用プロジェクト</b>	レンタサイクルによる中心市街地の公共交通の補完と中心市街地の活性化等を目的とした、レンタサイクル事業の実証実験
	<b>移動式屋外販売屋台活用プロジェクト</b>	木使い推進プロジェクトにより作成した移動式屋台をイベント等で活用し、中心市街地を活性化の実証実験
DX	<b>AIサイネージ実証プロジェクト</b>	町の交流・情報発信拠点となる施設（いわて沼宮内駅、道の駅、フューチャーセンター）などにカメラを内蔵したサイネージ端末を設置し、AIによる人流分析などの実証実験
	<b>インターネットラジオ実証プロジェクト</b>	導入した情報発信アプリのインターネットラジオ機能を活用し、普段からスマートフォンアプリに親しんでもらえる環境づくりと、インターネットラジオによる、町の魅力発信の実証実験



**IWATE TOWN**

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



持続可能な地域の未来を共創する

# 中心市街地の活性化のための景観形成の取り組み

# 中核拠点の開発 「岩手町フューチャーセンター」

町に変化を生み出すノード（結節点）としての「いわて町フューチャーセンター」

## □計画の概要

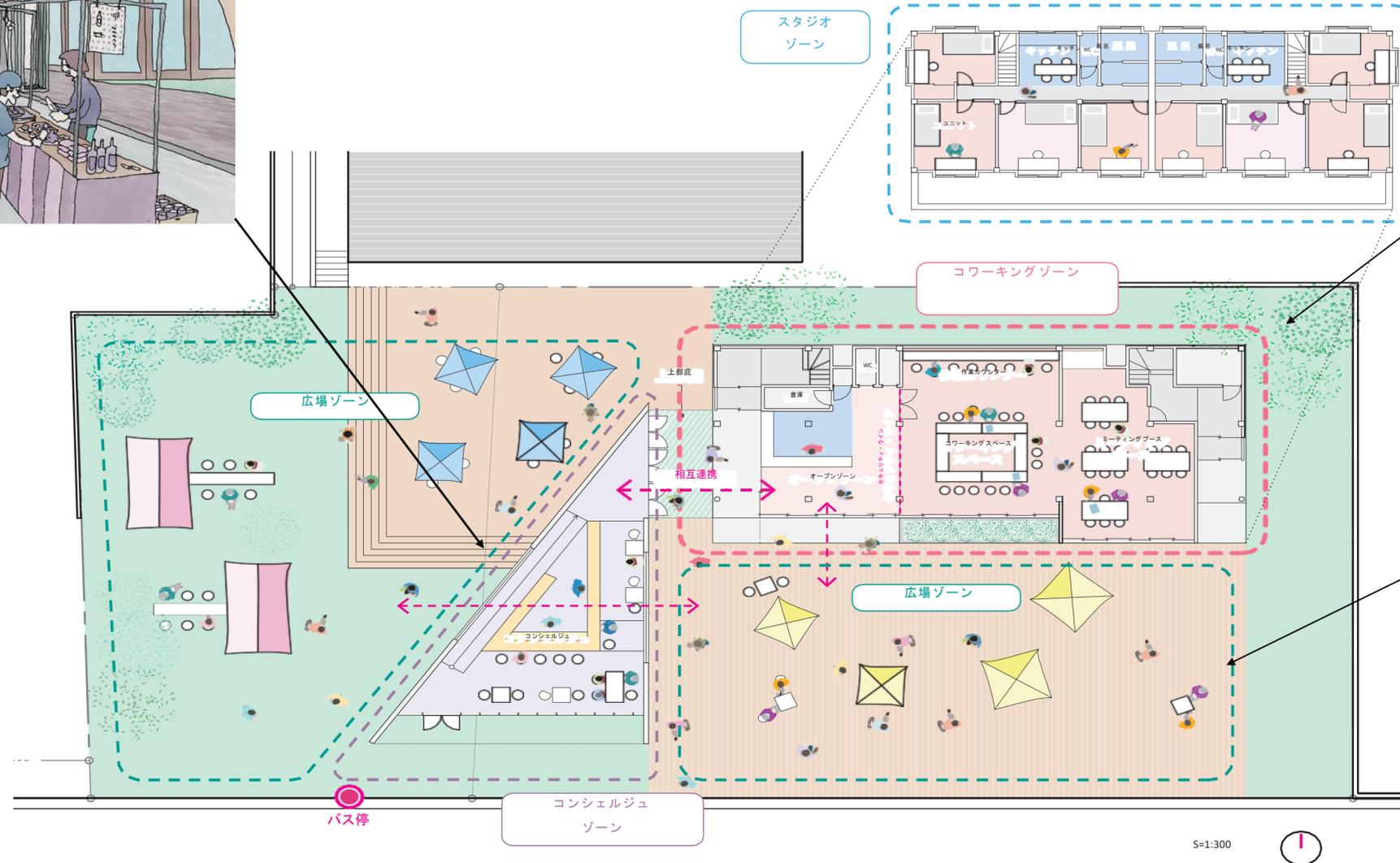
旧岩手町東北電力（昭和 54 年竣工）、及び郵便局横の町有地（現駐車場）をパブとフューチャーセンターなどの市民交流施設、及び宿泊施設に改修、新設する。

所在地：岩手町沼宮内第 7 地割 14  
敷地面積：854㎡（旧東北電力跡地）  
401㎡（町有地）  
延床面積：310㎡（旧東北電力寮）  
50㎡（いわて町パブ）  
980㎡（外構）  
構造：S 造地上 2 階（旧東北電力寮）  
木造地上 1 階（いわて町パブ）



[図 4]

# 「岩手町フューチャーセンター」コンセプト



# 「岩手町交流宿泊施設」

モビリタコート岩手





**IWATE TOWN**

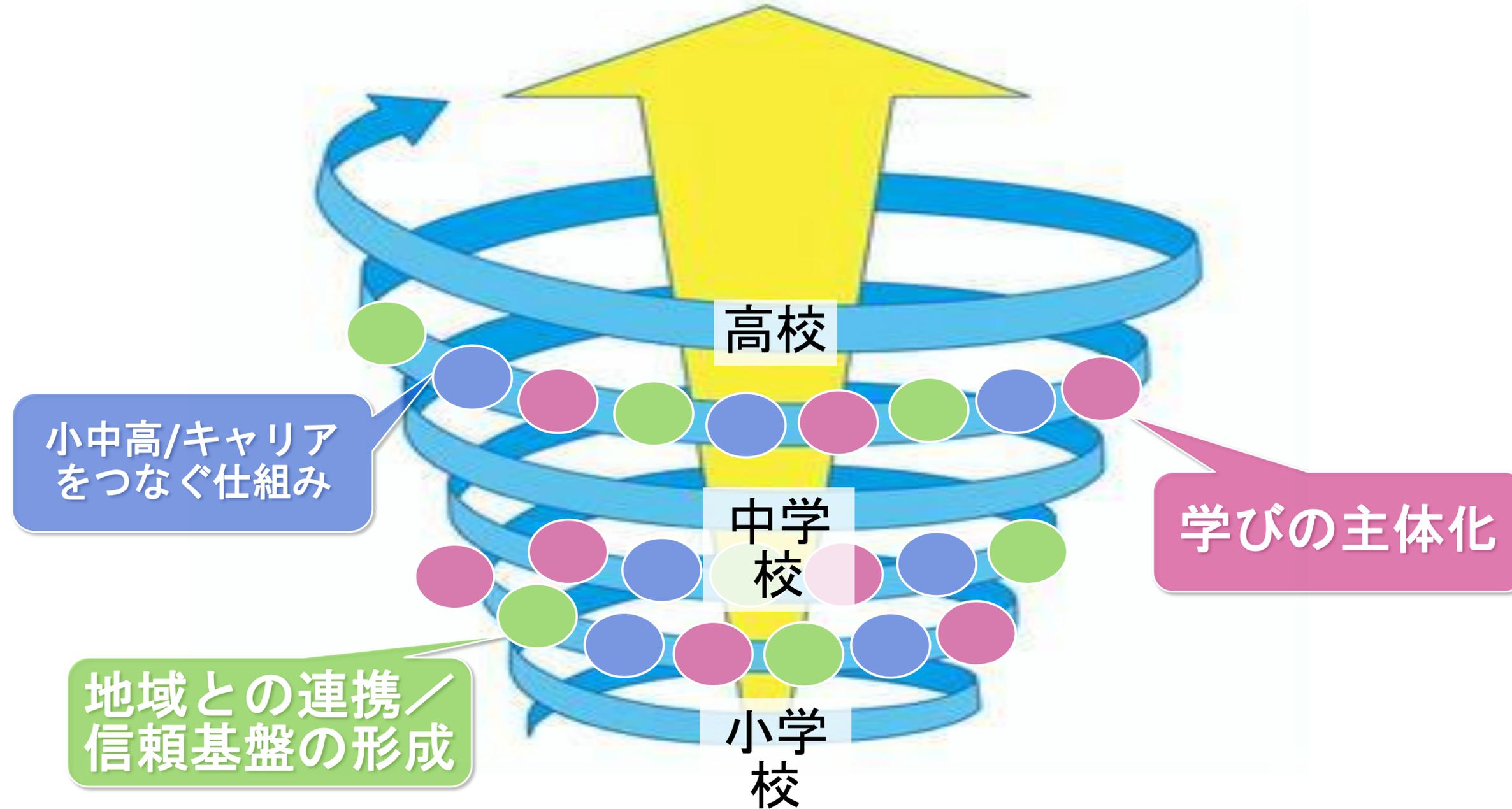
SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



共創のまちづくりにより地域共創人材を育成する

# 岩手町人材育成事業

## SDGs人材の育成へ



主体を形成される時期は児童・生徒それぞれで違うので、各年代でテーマに基づくプログラムを導入していく。  
児童・生徒/時代/地域に合わせたプログラムへと進化させることで、持続可能性を高めていく。



## 地域との連携／信頼基盤の形成

トークフォーク  
ダンス

- 地域×児童・学生
- 課外活動、PTA会議等



ファシリテーター 山口覚氏

- 津屋崎ブランチLLP代表
- 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授
- 2009年から福岡県福津市津屋崎地域に移住し、対話によるまちづくりを進めている。



町外に通う大学生

地域の企業の社員

親

議員

役場職員

幼稚園・学校の先生

地域のおじいちゃん  
おばあちゃん



# 地域と学校をつなぐ仕組み

## 地域との顔の見える信頼関係づくり（トークフォークダンス）



大人と子供が1対1となるように（フォークダンスするようにペアになって）座り、進行役の用意した質問に交互に1～2分程度で答えていく。トークフォークダンスは、これを質問ごと、順番に席を移動して相手を変えながら繰り返していく対話形式の交流イベントである。何気ない会話を通じて相手のことを知ることができ、回を重ねることで生徒と町民との顔の見える関係が育まれる。

- 学校またはPTAの行事等として、地区や学校ごとに定期的開催
- 町の委託事業として進行役となる専門家を派遣
- 将来的には、PTAなど町民が進行役となり、事業を継続していくことを想定



### 期待される効果

- 地域における顔の見える信頼関係の醸成、社会関係資本・基盤の形成
- 顔見知りが増えることで、地域への安心感・愛着の増加
- 相手との会話を通じて多様な価値観に触れることができ、視野が広がる
- 地域や町民への興味関心が高まる

# 県立沼宮内高等学校と岩手町との連携協定調印式

2022. 3. 30



## 高校1年生 総合的探究の時間 ～マイプロジェクトによる自己実現の支援～

自らの興味関心による疑問等から実践活動のテーマとなる「マイプロジェクト（マイプロ）」を主体的に設定し、その検討・実践を県内外の大学生が伴走支援する。



「岩手町と僕らの未来開拓プロジェクト」略して「いわぷろ」と呼んでいます。

令和2年度から始まった**岩手町若者人材育成事業**で、町内の中高生と県内外の大学生とが地域との交流を通して自身の将来を考え、町と自分の未来を開拓していくプログラムを実施しています！

## 高校2年生 総合的探究の時間

～企業活動体験プログラムによる実践活動によるキャリア形成・地域との繋がり構築～

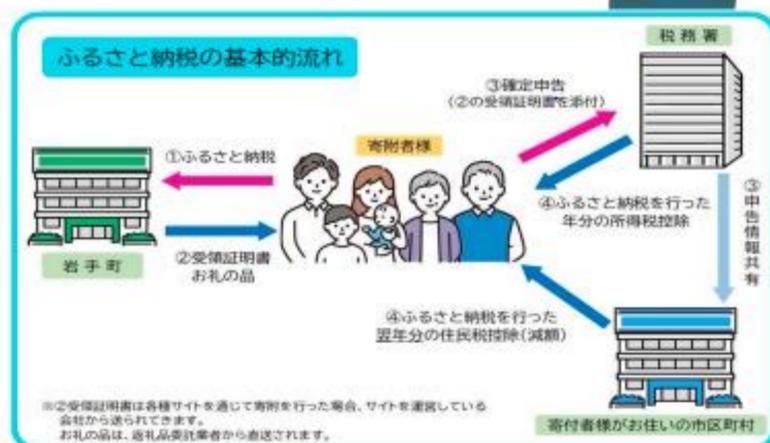
	プロジェクト	テーマ・実践活動
①	地産品の販売促進プロジェクト	<p>テーマ：ふるさと納税の返礼品を題材にした地場産品の発掘・発信、地域での地場産品の販売活動による地場産品の販路拡大</p> <p>実践活動：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町ふるさと納税の紹介チラシ作成</li> <li>・道の駅野菜セット郵送サービスへチラシの同梱</li> </ul>
②	移動式屋台の活用プロジェクト	<p>テーマ：地産材による制作した移動式屋台を活用した販わいの創出・地域活性化</p> <p>実践活動：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルーベリースムージーの販売（各日100杯）</li> </ul>
③	電動レンタサイクルプロジェクト	<p>テーマ：電動レンタサイクルを活用した実証実験および普及促進</p> <p>実践活動：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタサイクル試乗体験会</li> <li>・町グルメマップの配布</li> <li>・④と連携した電動レンタサイクルのデモ充電</li> </ul>
④	廃プラ再資源化・油化プロジェクト	<p>テーマ：廃プラスチックの再資源化、リサイクルの検討</p> <p>実践活動：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹皮とプラスチック1:1で作成したカトラリー「coo×dish」クーディッシュ販売（計450個）</li> <li>・シールデザインの作成</li> <li>・ペットボトルキャップの回収、油化の実施 60ℓの油生成</li> <li>・油化デモンストレーション実施</li> </ul>
⑤	地域ラジオ局・開発プロジェクト	<p>テーマ：情報発信アプリを活用した地域ラジオ放送局の開設</p> <p>実践活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域FMにて沼宮内高校オリジナルラジオ番組の運営</li> </ul>
⑥	スマートフォン教室(高齢者向け)プロジェクト	<p>テーマ：スマートフォン教室（高齢者向け）の開催を通してIT技術の普及</p> <p>実践活動：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホ教室の開催（40分×5回×各回3名 計30名）</li> <li>・Wi-Fiの登録方法について資料作成</li> </ul>

「ふるさと納税」で町を元気に

# ①地域の特産品で、町への寄附を集める

## ふるさと納税とは

寄附者にメリットを  
地方に元気を届ける素敵な制度です。



### <ふるさと納税の特徴・良いところ>

#### ・税金控除(こうじょ)

ふるさと納税をして税金控除が適用されると、課税対象額が減ったり、税金そのものが減ったりします。普通に納税するよりお得になるほか、高収入であるほどお得になります。収入(所得)や家族構成などによって、控除上限額が決まります。

岩手町のふるさと納税は  
こちら→



## 沼宮内高校生がおすすめする ふるさと納税返礼品4選!

岩手町唯一の高校「沼宮内高校」に通う私たちが  
愛する地元「岩手町の特産品」をご紹介します!



### おすすめ① りんごジュース荒搾り

甘すぎず、酸っぱすぎず、ちょうどいい甘さです。  
キンキンに冷やして夏やお風呂上りに飲むと  
さらに美味しいです!



### おすすめ② 冷凍ブルーベリー

酸味が少なく、甘みが強いです。とてもさっぱり  
しているので、ヨーグルトに合わせて食べるのが  
おすすめです!



### おすすめ③ ハッピーさんのアイス

味が濃厚で、ほんのり甘くとの味も美味しいです。  
ブルーベリー味とストロベリー味は果肉が入っていて  
食べ応えのあるアイスになっています!



### おすすめ④ ブルーベリーカレー

ブルーベリーがほんのり甘く、小さいお子様にも  
おすすめです! 中の具材にもこだわっていて  
美味しく、食が進みます。



※このチラシは岩手県立沼宮内高校の「総合的な探究の時間」で、ふるさと納税チームが調査したものです。

ふるさと納税の仕組みや地域の特産品をアピールするチラシを作成し来場者に配布

道の駅から発送される野菜セット内に同梱し、ふるさと納税の寄付額向上にもつなげていく。

町産材の魅力の発信×町の賑わい再生

## ②移動式屋台で街を盛り上げる



町の特産品である、ブルーベリーを  
広めるため、沼高オリジナルの  
「ブルーベリースムージー」を移動  
式屋台を活用し販売。

町の新たな名物に！？

11台を整備し、街の賑わい創出を目指す

2次交通手段の提供で、市街地の利便性を向上

### ③電動レンタサイクルで、移動をもっと自由に



レンタサイクル試乗会を開催！



令和4年5月から無料で  
電動レンタサイクルを貸し出し開始

ゴミとして捨てられていたプラスチックを資源に

## ④ 廃プラを再生した材料で新商品を開発



デザインについて  
エコマークを土台にし、杉の木を人間の手で守り繋いでいくという願いをデザインにこめた。

「COOXdish」（クーディッシュ）という商品名は、CO<sub>2</sub>を削減するという意味やクーという鳥の鳴き声のように使う人が優しい雰囲気を感じてほしい。

何度も洗って使用することができます！

みんなで作る参加型の地域ラジオ局

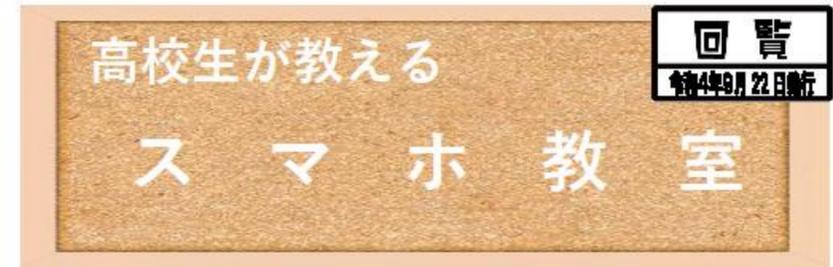
## ⑤ ネットラジオで番組・CMづくり



IBCラジオでのインターンシップを通して、オリジナル番組の作成を行う。

ネット後進国の岩手町を、一気に“スマホ先進都市”へ

## ⑥ 高齢者にもスマホの便利を



- ・日時:10月15日(土):10時～15時  
10月16日(日):10時～15時
- ・場所:道の駅 石神の丘 沼宮内高校特設ブース
- ・事前予約制 ※予約に空きがあるときのみ当日受付します。
- ・予約受付 TEL 0195-62-2388(沼宮内高校)  
受付時間10:00～16:00 ※予約申し込み締切日10月12日(水)  
予約時に次の点をお知らせください。  
1. お名前 2. 連絡先お電話番号  
予約電話後に折り返し詳細確認のお電話をいたします。(16:00 以降)  
スマホの機種、希望時間帯を第三希望までお伝えください。



沼宮内高等学校 2年 スマホ教室事業担当

引木 圭太 渡 優翔 和田 脩吾

田中 莉来 佐藤 真穂 立花 愛桜

当事業は総合的な探究の時間の一環で実施しています

お問い合わせ 岩手町 みらい創造課  
TEL 0195-62-2111 (内線 218)  
FAX 0195-32-2073  
Mail mirai-1@town.iwate.iwate.jp

町中央公民館でスマホ教室を実施、チラシの作成をグループで検討している様子



IWATE TOWN

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



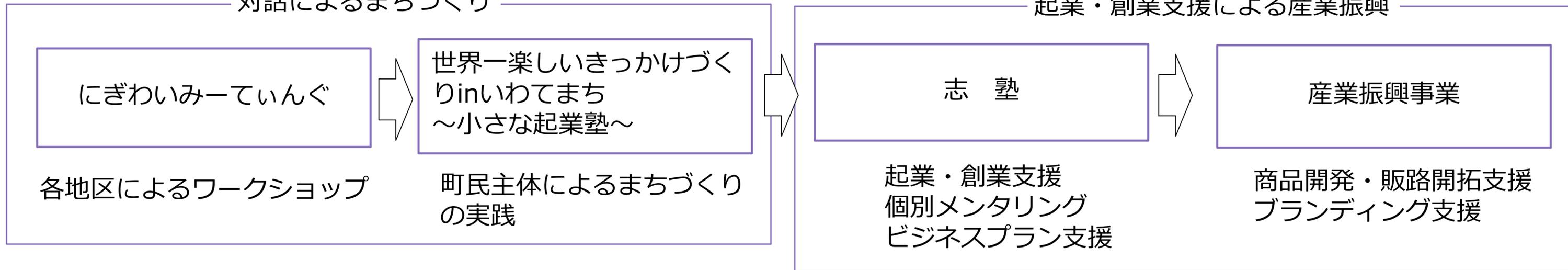
起業・創業支援や共創によるまちづくりによるシビックプライドの醸成

岩手町起業・創業支援事業  
対話によるまちづくり事業

# 持続可能な地域みらいの共創プロジェクト ～地域課題の共有から地域・社会解決型プロジェクト～

対話によるまちづくり

起業・創業支援による産業振興



R4.10.1 ごんぼ市(川口公民館)



R4.10.8 はてなウォーキング

# 起業・創業支援プロジェクト

岩手町SDGs未来都市共創プロジェクト  
 ~起業支援プログラム~  
 志塾



こんな人におすすめ

- 少し稼ぎたい
- 岩手町で夢を叶えたい
- 事業を大きくしたい



講師 山口 豪志氏  
 [スタートアップ成長請負人]

株式会社プロスター 取締役COO  
 株式会社54 代表取締役社長 ほか

1984年1月5日生。岡山県岡山市出身。2006年からクックパッド株式会社にて、広告事業・マーケティング事業の創成期より参加、2009年の同社IPOにトップセールスに貢献。12年より3人目の社員としてランサーズ株式会社に参画し、ビジネス開発部部長、社長室広報チームリーダーを歴任。15年5月に株式会社54を創業。2017年7月、プロスター株式会社に代表取締役COOとして参画。長崎県壱岐市に移住経験を持つ。

- 日時 2020年12月20日(日) 10:30~12:30
- 会場 岩手町広域交流センタープラザあい
- 参加費 無料(先着50名様)

【主催】岩手町 【共催】株式会社sinKA  
 【問い合わせ先】岩手町役場 未来創造課 TEL: 0195-62-2111(内218)  
 FAX: 0195-62-2073 E-MAIL: mirai-1@town.iwate.iwate.jp

申し込み方法  
 詳細は裏面へ

第1回志塾 講義「岩手町で起業する」

令和3年度の「志塾」



24名の参加



新海氏による講義



ワークショップ



質疑応答